

『ベクトル解析基礎』授業の進め方について

本年度の講義は、新型コロナウイルスによる感染の影響を受けて、通常の教室での授業を実施することはできなくなったため、遠隔授業を行います。

理数系の科目の場合、図を描いたり、数式を展開したりして説明することが多いので、遠隔授業にはなかなかなじみません。とはいえ、可能な限り教育効果を損なわずに授業を実施するよう努めます。

授業形態としては、板書を使った本来の講義形式に最も近いビデオ撮影によるものを考えています。板書が見えにくいなどの欠点があるかもしれません。受講生の皆さんの要望・意見を参考にして、他の方法を試みるかもしれません。

授業そのものは、指定した教科書 (E. クライツィグ：線形代数とベクトル解析 (原書第8版)、培風館) に沿って進めていきますので、必ず事前に入手しておいてください。分かりにくい点は板書で説明します。この教科書は演習問題が豊富で、約半数の問題については解答も付いているので、自習するのに便利です。授業を受けたら、ぜひ自分で問題を解くようにしてください。必ず実力が付きます。

授業形態がどうなるかはともかく、次の点は維持していく考えです。

1. 成績評価のやり方

評点 (100点満点) = 課題の成績 + 期末試験の成績

課題の成績は、1課題につき5点の配点で10回実施する予定です (授業回数が減ったので、10回に満たないかもしれません。その時は期末試験の評点で調整して、100点満点となるようにします)。

期末試験については、現時点で例年のような教室で一斉に実施する試験は難しいと考えられます。場合によっては、レポート形式に変えることもあります。

2. 課題の提出方法

例えば、課題1であれば 20ex1.doc のようなファイル名になっています。それを印刷して答案を作成し、写真に撮影してファイルを WebClass にアップロードしてください。その時、ファイル名の後ろに半角かっこの中に学籍番号を付加して提出者がわかるようにしてください。例) 20ex1(19TM125).jpg (これは jpg ファイルにした場合)。また、印刷する環境にない場合は、ダウンロードしたファイルに直接 Word で記入して答案を作成しても OK です。この場合は Word ファイル形式のままかまいません。原則として**提出締切**は次回授業日前日とします。解答例を公開しますので、締切を守らないと採点されない場合があります。

課題の採点は鄭穎先生が担当することになっています。採点基準を定めておくので、採点の不公平性は可能な限り少なくできると思います。

なお、講義担当者は他大学の人間なので、本学の WebClass にはなじんでいません。課題は WebClass にアップロードしますが、自分の大学のホームページにもアップロードする予定です (<https://www.sit.ac.jp/user/kobayasi/class2.html>)。どちらにアクセスしてもかまいません。何かわからない点、困った点などが生じたら、ためらうことなく電子メールで連絡して下さい (kobayasi@sit.ac.jp)。 (2020.4.28 改訂)